瞑想自省禄−２０２５.６

 2025.6.21

　４、５、６月とここ最近は、トランプと太田翔平の追っかけ（推し活？）をやっている。

その挙動が世間を驚かせる二人だが、ある意味インテリ・常識派から馬鹿にされているトランプと全ての人から愛されている翔平との対比が面白い。

1. トランプ；

「トランプのこの世に生まれてきたミッションは何か？」

「2024.7.14の暗殺未遂事件で、なぜ神はトランプを殺さなかったのか？」が

私の命題である。

彼の支持層の理解と、彼をよく理解するために、2冊の書籍を読む。

「ヒルビリー・エレジー」J.D バンス著。

「　恐怖の男」ボブ・ウッドワード著。

トランプの衝動性、ある意味での狂気？がよく分かる。

関税と局地戦争を巡るトランプのDEAL劇場、それに伴う各国の対応と姿勢が興味津々である。　世界経済への影響が読みにくい。一喜一憂をしないで、静観が最も望ましい。最初は戸惑ったが、次第にトランプの挙動のパターンが見えてくる。

最近は、トランプはTACO, [Trump always chickens out ]と揶揄されているが、

案外気の小さい男なのだろう。

MAGA [Make America Great Again]のスローガンは良い。ただそのAmericaが、万人の国家レベルのアメリカではなく、自分だけの、トランプだけのアメリカになっているのが狂っている。MAGAを突き抜けて、MWGA　即ち　Make the World Great Again 全ての人を幸せにするスローガンにならなければいけない。

トランプの精神の成長が、極めて未熟、低レベルで、「情けは人の為ならず」の境地に達していない。

トランプだけではない。プーチン、金、ネタニヤフ等　国益を表に出しての、私利私欲にまみれた政治屋のオン・パレードで、さながら動物園の檻の中の小競り合いのようだ。

このDEAL劇場が終わった後、どのような世界が出現するのか？　自然の摂理が何を意図しているのか？　興味津々で当分　「トランプ推し活」で忙しい。

1. 大谷翔平；

何とラッキーな星の下に生まれた男だろう。

彼がどのような活躍をするか？日々の試合が待ちどうしい。

面白い。ワクワクする。爽やかである。一度会ってみたい。

ちなみに、我が女房殿は「藤井聡太」を追っかけている。

いつしか将棋業界の人間模様に詳しくなっている。

注：リーダーシップ研修では、

自分の理想の経営者を選び、その人の考え方・人柄を徹底的に研究して、何か経営上の問題に面した際には、その人ならばどのように対処するか？をシミレーションして参考にするようにするようにと指導している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　以上